

西園こども園の資質向上に関する情報を中心に掲載しています。

令和6年度は以下の点について重点的に取り組みました。

### ○保育・教育実習生受け入れについて

年々減少している保育士の数に危機感を感じ、私たちにできる事は何かを考えました。

保育の大学・短大・専門学校へ通っている学生さんには、保育実習・教育実習が必須になります。

資格を取得するためには必ず通る道となり、西園こども園の職員もこの実習を学生の時に受けてきました。

この実習で挫折してしまう学生さんも多いことが、養成校の方でも課題との話をききました。

そこで、保育実習・教育実習を任していただいた場合(実習の依頼をうけた場合)、実習生の立場に立って指導援助することで、実習をより良いものにして送り出したいと考えました。



例えば

○質問・疑問がすぐに聞くことができる体制

学生さんには、聞いていいのかな？わからないでしょう。。。がないように

実習生の行動に気を配り話しかけや、“一緒に”やってみることを実践してみました。

○チャンスを多く入れる

子どもたちと仲良くなれるよう、緊張している実習生に職員が声をかけながら、読み聞かせや、職員と一緒に子どもの援助の願いを多く取り入れるようにしました。一人では不安なことも職員と一緒になら安心してできる事も多いです。

○振り返りの時間を毎日その日のうちに

実習生が入ったクラスの担任がその日の14:00頃に振り返りの時間として実習生の時間を設ける。活動の時間はなかなか質問できなくても、振り返りの時間に聞くことができるようにしました。

他にも実習生の受け入れマニュアルも新しいものにして時代と今の保育に照らし合わせて改良しました。

毎年実習生が安心して実習を終えることができるよう前進していきたい、未来の仲間がたくさん増えるよう努力したいと思います。

実習生を受け入れることで私たち職員も振り返り、よりよい保育にしようと思われ、それから、なにより子どもたちは実習生が大好きです。私たちも実習を受け入れる側として、職員一丸となり時代に合わせて変化して、現在保育士として未来の保育士の援助を担うことも今まで以上に重要だと気づきました。